

Environmental Report 2015

会津富士通セミコンダクターグループ
環境報告書



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

目次

■ トップメッセージ		2
■ 事業と環境経営		3
■ 環境方針		4
■ 2014年度環境重点活動項目		5
■ 2014年度環境活動計画と結果		6
■ 環境コミュニケーション		9

■ 本環境報告書は、富士通セミコンダクターグループの半導体事業を担う会津富士通セミコンダクターグループの環境的側面に関する考え方・取り組み内容・成果などを報告するものです。

■ 2014年度（2014年4月1日から2015年3月31日まで）の活動内容を記載しています。ただし、一部には2014年4月1日以前、2015年4月1日以降の活動内容などが含まれています。

■ 報告対象組織は、会津富士通セミコンダクターグループのみを対象としています。

高品質と安定した製造能力を提供する。これが私たちの基本です。



会津富士通セミコンダクター株式会社
代表取締役社長

渡部 潔

会津富士通セミコンダクター株式会社、会津富士通セミコンダクターウェハソリューション株式会社、会津富士通セミコンダクターマニュファクチャリング株式会社は2014年12月に富士通セミコンダクター株式会社から分社し、ウェハファウンドリ会社として新たにスタートしました。

私たちは、お客様との約束を守る誠実さ、たゆみない自己変革、相互の信頼を大切な価値観として、お客様にとってNo. 1のパートナーであることを目標としています。

私たちの工場は、磐梯山や猪苗代湖など恵まれた自然の中に立地し、会津若松の地域をはじめとする多くの方々から暖かいご支援を受けてまいりました。

今後とも、環境に配慮しながら地域との調和を図り、共に発展していくことを目指します。

環境にやさしいウェハファウンドリ会社を目指します。

2014年度は、富士通グループ第7期環境行動計画の2年目でした。この行動計画をベースに、私たちは、事業活動を通じ、地球環境をはじめとした広く社会課題の解決に貢献するために様々な環境活動を進めた結果、すべての目標を達成することができました。



会津富士通セミコンダクター
マニュファクチャリング株式会社
代表取締役社長（環境担当役員）

渡部 仁

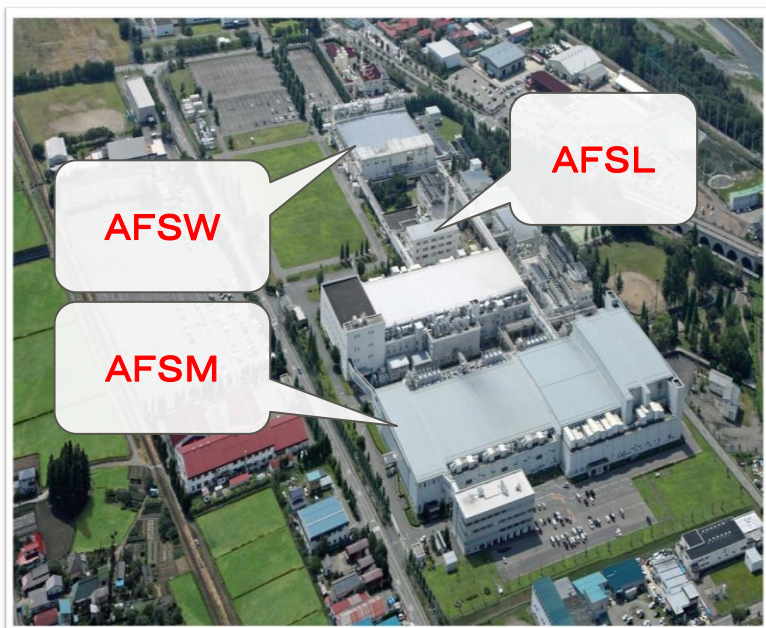
2014年12月、我々会津富士通セミコンダクターグループは、ウェハファウンドリ会社として新たにスタートいたしました。これによりお客様からは商品だけでなく、企業の社会的責任を積極的に果たす取り組みも求められています。

例えば温室効果ガス（エネルギー消費CO₂、PFC）、薬品・ガス等の化学物質、産業廃棄物の削減活動を通じてこれまで以上に環境を保護することです。総量だけでなく原単位（1枚のウェハを製造、試験するためのエネルギーや材料）の改善に着目し高い競争力のある「グリーンファクトリー」を実現することを目指します。

会津富士通セミコンダクターグループ概要

会津富士通セミコンダクターグループは、事業活動での環境負荷低減に取り組み、低炭素で豊かな未来を実現する環境経営を推進します。

- 本 社 会津富士通セミコンダクター株式会社
- 所 在 地 福島県会津若松市門田町工業団地 4 番
- 代 表 者 代表取締役社長 渡部 潔
- 設 立 2014年 12 月 1 日
- 事業内容 ウェハーファウンドリサービス、ウェハー試験サービスにかかる事業



ISO14001認証

会津富士通セミコンダクターグループは、富士通グループの一員として環境マネジメントシステム（EMS）の国際規格である ISO14001 の認証を取得しています。詳しい内容は Web サイトをご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/group/fsl/about/environment/>

審査機関 JACO/DNV

明示登録証番号 EC98J2005

登録日 1995年9月12日

更新日 2015年3月23日

期限 2018年3月22日

ISO14001認証取得状況

会津富士通セミコンダクターグループ	認証範囲
会津富士通セミコンダクター株式会社 会津若松市門田町工業団地4番地 (A F S L)	製造（統括）
会津富士通セミコンダクターウェハーソリューション株式会社 会津若松市門田町工業団地3番地 (A F S W)	製造
会津富士通セミコンダクターマニュファクチャリング株式会社 会津若松市門田町工業団地6番地 (A F S M)	製造

会津富士通セミコンダクターグループは、富士通セミコンダクターグループ環境方針のもと、環境マネジメントを推進しています。

■ 富士通セミコンダクターグループ環境方針

私たちは、先進の技術で環境性能に優れた半導体デバイスを提供し、お客様とともに豊かな地球環境の保護に貢献します。

＜行動指針＞

私たちは、以下の指針により開発／調達／生産／販売／使用／廃棄にいたるすべてのライフサイクルで、環境負荷の低減と地球環境汚染の予防に努めます。

1. スーパーグリーン製品の開発および製品含有化学物質の適正管理を積極的に推進することにより、製品の環境性能を向上させ、お客様および地球環境の負荷低減に積極的に貢献します。
2. 地球温暖化対策を積極的に推進し、温室効果ガス（CO₂、PFCs）の排出を削減します。
3. 化学物質の適正管理を積極的に推進し、VOC（揮発性有機化合物）の排出を削減します。
4. 廃棄物の発生量削減、および適正な再資源化を積極的に推進します。
5. グローバルな視点で環境関連法規制、およびお客様とのお約束を順守します。
6. よき環境市民となるべく、地域社会に根ざした環境社会貢献、生物多様性保全を推進し、社員一人ひとりの環境意識の向上を図ります。
7. 環境マネジメントシステムの有効性、透明性の拡大を進め、継続的な改善と発展を図ります。

■ 環境マネジメント活動

富士通グループ「Green Policy 21」「Green Policy 2020」「環境行動計画」に基づき達成すべき数値目標を明確にした「会津富士通セミコンダクターグループ環境目的・目標」を策定し、計画的かつ継続的改善のもと、環境マネジメント活動を推進しています。

■ 環境法令の順守

2014年度に会津富士通セミコンダクターグループにおいて、水質汚濁防止法に係る法令順守違反が1件発生しました。特定施設の届出遅延です。対策として、現状システムを見直し、遅延の発生しない仕組みとしました。

■ 環境推進委員会

年2回環境管理責任者が各部門責任者を定期的に招集し、当グループ全体の環境目的・目標の達成状況や課題について話し合う環境推進委員会を開催しています。そこでは、環境に関わるグローバルな法規制や環境動向など様々な情報交換もすすめ、新たな環境活動への取り組みやコンプライアンス確保に役立てています。

■ 環境監査

毎年内部環境監査を実施すると同時に、有効な監査を行うために、内部環境監査員の力量向上を図る教育を実施するなど、環境監査の強化に努めています。JACO（株式会社日本環境認証機構）による外部審査を受査し ISO14001の認証取得を継続しています。

環境教育・環境リスクの低減

■ 環境教育

富士通グループでは、3年ごとに策定する環境行動計画の内容を社員へ浸透させていくために、1995年から全グループ会社社員を対象とした環境教育を実施しています。これに加えて、会津富士通セミコンダクターグループでは、独自に毎年、全グループ社員を対象とした環境教育を実施し、全社員の受講を完了しました。

また、環境業務を担当する社員に対しては、専門教育として、内部監査員教育や廃棄物実務担当者教育なども実施しています。

さらに、当グループでは、半導体事業の業種・業態に沿った内容の環境教育も実施し、社員一人ひとりの環境意識の向上に努めています。

■ 環境リスクの低減

： 土壌、地下水の汚染を防止する取り組み

各環境法および条例に準拠した環境分析を定期的に行い、問題の無いことを確認しています。
2013年度には改正水質汚濁防止法に対応するため、埋設配管の架空化及び地下受槽監視用の井戸を増設し、監視の強化に取り組んでいます。



<埋設配管 架空化前>



<埋設配管 架空化後>

2014年度環境活動計画と結果

環境行動計画

会津富士通セミコンダクターグループでは、ウェハーファウンドリ事業活動に伴うエネルギー・化学物質含めた資源の消費抑制に継続して取組み、低炭素で豊かな未来を実現するため、お客様や社会の環境負荷低減に貢献しています。

■ 2014年度活動結果

温室効果ガス（GHG）の排出量の削減、化学物質及び廃棄物発生量の抑制、水資源の有効活用など環境行動計画に基づく活動目標を全て達成いたしました。

○ 目標達成

大項目	項目		2014年度目標	2014年度結果
自らの事業活動	温室効果ガス(GHG)排出量の削減	①	エネルギー消費CO ₂ 排出量を108,099t-CO ₂ 以下にする	○ 95,293t-CO ₂
		②	PFC排出量を71,040t-GWP以下にする	○ 68,739t-GWP
	水資源の有効利用	③	水資源有効利用施策を3件以上実施する	○ 7件
管理	化学物質排出量の抑制	④	VOC排出量を17,291Kg以下にする	○ 3,955Kg
	廃棄物排出量の抑制	⑤	廃棄物排出量を2,562t以下にする	○ 1,641t

地球温暖化対策

① エネルギー消費CO₂排出量削減

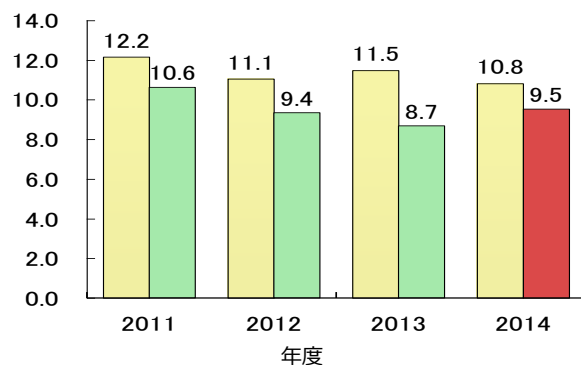
■ 工場での省エネ施策

2011年3月の東日本大震災以降、夏季の節電強化を目的に省エネ点検、省エネパトロールを実施し、現場のムダ取りや省エネ施策の洗い出しを行なうと共に、従業員に対し省エネ啓発活動も実施しています。

また、モーターへのインバータ設置や一般エリアに加えてクリーンルームエリアへのLED照明の導入も進めるなどエネルギーの削減に積極的に取り組んでいます。

■ エネルギー消費CO₂排出量

(万トン CO₂)



■ : 目標

■ : 実績(2011~2013年度)

■ : 実績(2014年度)



(LED蛍光灯 クリーンルーム内)



(PFC除害装置)

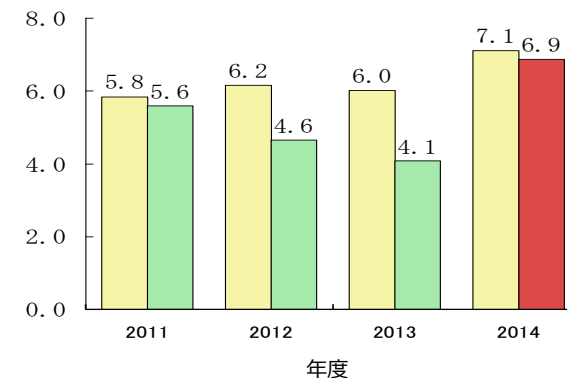
② PFC排出量削減 (CO₂以外の温室効果ガス)

製造工程のクリーニングガス等で使用する、温暖化係数の大きいPFCガスの排出量削減に取り組んでいます。2014年度は操業アップのため、排出量は増加しましたが、PFC除害装置の設置を順次拡大し排出量を抑える取組みを継続しています。

※PFC : Perfluoro-compounds

■ PFC排出量削減

(万トン GWP)



水資源有効活用および化学物質、廃棄物抑制

③水資源の有効利用

■水使用量最適化を実現

製造工程の洗浄設備を中心に純水等の流量の調整を実施した結果、2013年度から2014年度に掛けて投資を行うことなく年間で約21万m³の水使用量を削減し、限りある資源である水の有効利用に大きな成果をあげることができました。

(2014年度富士通グループ環境奨励賞を受賞)

④化学物質排出量の抑制（管理）

■排出量削減活動

2014年度は生産量が増加しましたが、VOC排出量は有機排ガス処理設備のコンディションの適正管理により、前年度比42%削減しました。今後もVOC排出量の継続的な削減活動に取り組んでまいります。

※VOC: Volatile Organic Compounds

⑤廃棄物発生量の抑制（管理）

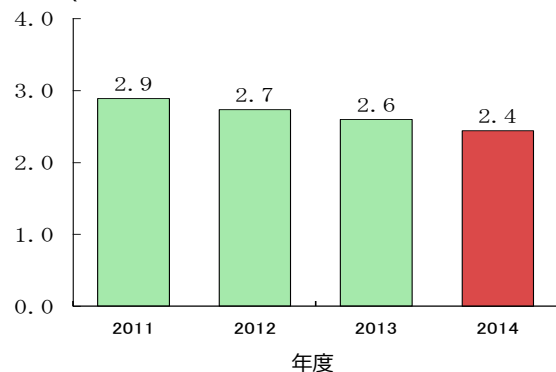
■廃硫酸の社内再利用

2014年度は、製造工程から排出される廃液の削減、リユース等に取り組み約90トン削減しましたが、生産量の増加により前年度比23%増となりました。

今後も3R（リデュース、リユース、リサイクル）を積極的に進め、継続的な廃棄物削減活動に取り組んでまいります。

■水使用量

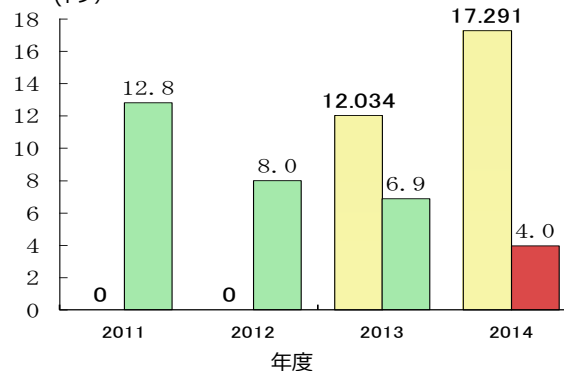
(百万 m³)



※ 水資源の有効利用施策を目標としました。

■ VOC排出量

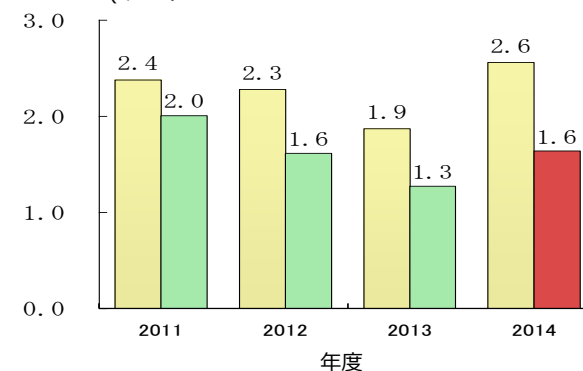
(トン)



※ 2011～2012年度は、重点化学物質(使用量の多いVOC)の排出量を目標として設定していました。

■ 廃棄物発生量

(千トン)



■ : 目標

■ : 実績(2011～2013年度)

■ : 実績(2014年度)

社会貢献活動

事業所周辺の清掃活動や身近な自然環境を守るための緑化活動など、地域に密着した取り組みを実施しています。

これからも地域社会とのかかわりを大切にしながら、さまざまな活動に取り組んでいきます。



ラベンダー花壇除草 (6月)



ラベンダー花摘み (7月 工業団地他事業所からも参加)



工場周辺清掃活動(5月)

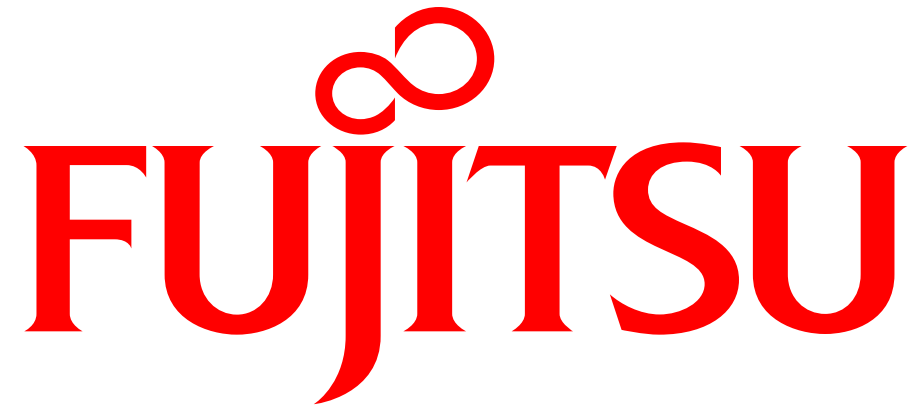


クリーンふくしま (9月 JR西若松駅周辺)



会津若松市環境フェスタ (9月)

- 発 行：2015年11月
- 発行責任者：代表取締役社長 渡部 潔
- 編集責任者：総務部 的場 亨
- 発行部門：会津富士通セミコンダクター株式会社 総務部
- 参考にしたガイドライン：環境省「環境報告ガイドライン2007年版・2012年版」



shaping tomorrow with you